

○議長（神山章憲）

次に、11番野田成幸君の登壇を求めます。

○11番（野田成幸）

最後になりましたけど、よろしくお付き合いのほどお願いいたします。

私は、一般質問に2つの項目を挙げておりました。妊婦歯科検診についてと、三潴上陽線の歩道設置の進捗状況についてでございます。

最初に、妊婦歯科検診について質問をいたします。

先日、町内の歯医者さんに行きましたら、そこに筑後市妊婦歯科健診のポスターが張り出されておりました。そこには、母子手帳を25年4月1日以降に交付された妊婦が、妊娠中に1回、本人の負担は無料で、歯科歯周病の検査と、歯科保健指導を受けることができるということが書かれておりました。妊娠中は、口の中のトラブルが起こりやすいそうですが、これは、つわりやホルモンのバランスの影響で虫歯になりやすい状態や歯周病の原因菌が繁殖しやすくなるためだそうです。そして、歯周病になっている人は、早産や低体重児出産のリスクが高くなるので、妊娠中の歯科健診の受診が推進されているようです。

このポスターは、広川町町内の歯科医院に張ってあったものですし、実施機関が、八女筑後歯科医師会となっております。当然、広川町の住民も受けられると思いましたが、無料で受けられるのは筑後市民だけでした。ただし、受診できる歯科医院は、八女筑後歯科医師会に加入されている歯科医院であればどこでもよく、筑後市内ではなく、八女市でも広川町でもよいということでした。広川町でも、お隣の筑後市が実施していることでもあり、町として子育て支援の充実も施策の中に掲げておられますので、妊婦歯科健診を実施すべきではないかと考えます。いかがでしょうか、町の意見を聞きたいと思えます。

2つ目の三潴上陽線の歩道設置の進捗状況については、質問席のほうで状況を聞きたいと思えますので、よろしくお願いたします。

○議長（神山章憲）

町長。

○町長（渡邊元喜）

野田成幸議員の質問の中の妊婦歯科健診についての御質問ですが、御承知のとおり、現在、本町では妊婦歯科健診は行っておりません。県内でも、これまでに取り組みの実績があるのは福岡市、北九州市で、筑後市が本年度、25年度から開始しております。また、久留米市が26年度からの実施を検討されているようです。

これまで、本町では、妊婦健診の必要性について深く研究してきたわけではありませんので、今後、そのような近隣自治体の取り組み状況や妊婦さんの受診状況、あるいは歯の病気が、妊娠中の母体やおなかの赤ちゃんの成長へどんな影響を及ぼすかなども考慮して、今後の子育て支援全体の中で、検討材料の一つといたします。

次に、三潴上陽線の歩道設置の進捗状況についてでございますが、まず、新代地区、こ

これは広川郵便局から中広川小学校前までの区間でございますが、北側より工事が進捗してありますが、建物移転も間近であり、南側の歩道設置も含め平成26年度に完成する予定であります。

次に、広川地区、下広川のことですが、下指合線入口から下広小手前までの区間は、昨年8月下旬に地元説明会が開催され、土地、物件に係る立入調査の承諾も得られましたので、現在、土地の所有権等の聞き取り調査が行われております。

来年度に入って、建物、物件等の調査を行い、鑑定結果が出てからの用地交渉となりますし、建物等の移転が終了するまでの期間を考慮すれば、これから用地完了まで最低2年の期間を要します。それ以降の工事となれば、本区間の完成時期は、早くても平成28年度末になろうかと考えております。

計画された区間については以上であります。未計画の区間であって地域要望が強い、中広川小学校前から中学校前までの区間の早期な計画の着手について、また、久留米筑後線から国道209号線までの区間の整備方針等について、早期に協議の場が持てるよう今後も要望活動を行っていきたいと考えております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○議長（神山章憲）

11番野田成幸君。

○11番（野田成幸）

妊婦歯科健診のほうから。妊婦健診の中に歯科健診は含まれていませんが、広川町でも妊婦健診の制度があると思いますので、その妊婦健診の受診率はどのくらいでしょうか。

妊婦健診は、14回まで受けることができると思いますが、実際に妊婦の皆様は14回の健診を全部受けていますか。もし、全部が使われていなければ、そのうちの1回を歯科健診にすることもできると思いますが、どうでしょうか。

○議長（神山章憲）

健康福祉課長。

○健康福祉課長（藤島弘義）

妊婦健診の14回のうち、どのくらいが受診をされているかということにつきましては、大体例年、10回から12回ぐらいが1人の妊婦さんが受けられる平均的な健診の回数、町の無料の妊婦健診を使って受けられる回数になっておるようです。

その妊婦健診の中から、1回歯科健診に回したらどうかというようなことなんですけれども、この妊婦健診というのは、どの時期に何回目を受けて、その何回目にはどういう健診を受けるというようなことが決められておまして、その健診の内容も、福岡県内の市町村で共通のやり方を行うということで福岡県医師会との契約の中で行われております。そういうことでございますので、広川町が14回のうちの1回だけを歯科健診に回すということになりますと、その県内の統一したやり方から外れて独自にというような制度をつくらないといけないということになりますので、それは現実的ではないのではないかと思います。

ます。

筑後市の場合も、その妊婦健診14回はそのまま14回実施をした上で、妊娠期間中に1回だけ歯科健診を受けることができるというような取り組みになっておるとい実態のよう
でございます。

○議長（神山章憲）

町長。

○町長（渡邊元喜）

今、担当課長が申しあげましたように、14回というのは、おなかの赤ちゃんの成長過程
の中で必要な回数で決められておりますから、それをどうのこうのということじゃありま
せん。歯科健診は歯科健診で考えなければなりませんので、それが必要とあらばそれを実
施しなければなりません、そのためには、やはり私どもも研究をしましてその結果を出
して、早急に答えを出していくようにします。

○議長（神山章憲）

11番野田成幸君。

○11番（野田成幸）

現在、妊娠中の妊婦健診には含むことができないということですので、筑後市は先ほど
も言われたように、独自に1回の歯科健診を実施されているわけです。筑後市では、どの
ような経緯でこの妊婦歯科健診に取り組むことになったのか、把握されておりますか。

○議長（神山章憲）

健康福祉課長。

○健康福祉課長（藤島弘義）

取り組みまでの経緯ということにつきましては、筑後市に限らずほかの自治体さんも同
様、実施されている自治体も同じだと思うんですけども、母子保健法であったりとか、
歯科口腔保健の推進に関する法律というものが基本にありまして、その目的を踏まえて実
施をされているということだろうと思います。

それから、福岡県のほうも、歯科口腔保健の推進に関する条例というのがつくられてお
りますので、その県の条例の中にも基本的施策の一つに、妊産婦時期の健全な口腔状態の
維持というものに取り組まなければならないというのが示されておりますので、そういう
こともその取り組みの目的の一つではないかと思ひます。

以上です。

○議長（神山章憲）

11番野田成幸君。

○11番（野田成幸）

今、課長が申されたように、歯科健診も県のほうとか国のほうでも、条例で何か推進し
ていくということになっていると思ひております。

そこで、広川町も、子育て支援の充実ははつきりと取り組むと言われているわけですし、

隣の八女市が始める前に少しでも先に実施すれば、ここに八女筑後地域に住みたいと考えている若い世代の人にとって、このような支援があることは定住化促進にもつながり、施策の一つになると思います。

それから、歯科健診も、特定健診などと同じように、早いうちに問題点を見つければ早期治療に結びつき、早産や低体重児出産のリスクも減らすことができるのであれば、医療費の削減にもなり、町の負担の軽減にもなります。特定健診と同じように、早期発見、早期治療による医療費削減を目的に歯科健診を取り入れることが必要ではないかと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（神山章憲）

町長。

○町長（渡邊元喜）

ほかの市町村と競争は決してしておりません。必要ならば、よそに負けないようなスピードで取り入れもします。ですから、その研究をさせていただきたいというふうをお願いをしておきます。

○議長（神山章憲）

11番野田成幸君。

○11番（野田成幸）

早急の研究をよろしく願いいたします。

次に、三潴上陽線の進捗状況のあれは、各議員さんたち、皆さんもう思いは一緒だと思っておりますので、広川町には三潴上陽線の県道には、皆さんわかっておられると思いますが、3つの小学校と1つの中学校が沿線にあります。児童が安全に学校に行けるということも目的にありますので、ぜひ早急に歩道設置ができるようお願いをいたしまして、私の質問を終わりたいと思います。よろしく願いいたします。